

- 協議完了時
- 変更時
- 工事完了時

建築物の名称 暁星学園125周年記念事業計画(Ⅱ期工事)

建物用途 建築物の所在地	学校, その他(講堂) 東京都千代田区富士見1丁目2-6他	敷地面積 建築面積 延床面積	19,636.85 m <sup>2</sup> 1,157.85 m <sup>2</sup> 3,226.23 m <sup>2</sup> : 計算対象 3,226.23 m <sup>2</sup>
地域 竣工日	富士見地域 2022年8月15日	階数 構造	地上 階 地下 階 RC造, SRC造, S造

省CO2効果

削減率  
25.9 %

優良環境建築

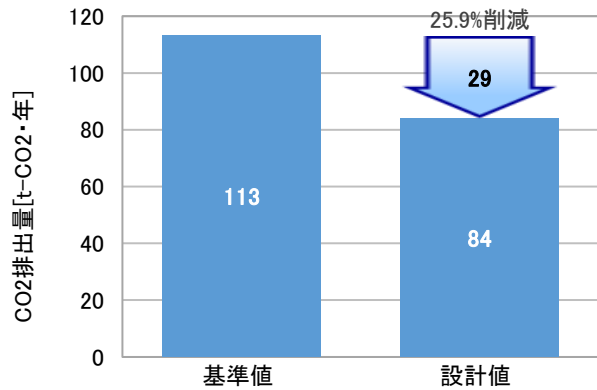


省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量 2,312.0 [GJ/年]  
設計一次エネルギー消費量 1,710.9 [GJ/年]  
BEI(設計値/基準値) 0.74

CO2排出量

基準値 113 [t-CO2・年]  
設計値 84 [t-CO2・年]  
削減量 29 [t-CO2・年]  
削減率 25.9 %



省CO2対策の概要

建築側では、主にLow-E複層ガラスを用い、南側には庇を大きく設け日射遮蔽に配慮した。設備側では、高効率の機器を多く採用し、送風量制御やセンサなどの制御手法を用い、省CO2を図った。



省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 変風量制御
- 送風量制御
- LED照明 (範囲:全箇所)
- 人感センサ (範囲:便所)
- 明るさセンサ
- スケジュール制御
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 庇・ルーバー・バルコニー
- 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- 地域冷暖房を導入
- 地域冷暖房を将来導入
- 既存地域冷暖房から受入
- サブプラントを設置
- 特定電気事業者等を導入
- 特定電気事業者等を将来導入
- 特定電気事業者等を受入
- 熱融通
- 電力融通
- 面的対策その他

- エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(消防設備用以外)
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- バイオマス
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮